

## 第1号議案資料-1

# 大阪大学工業会 令和7年度事業報告および決算について

## I. 実施事業と費用(関連収益含む)

### 1. 会誌「TECHNO NET」の発行

令和5年度より、会誌発行は、冊子発行年1回(4月)、WEB発行年4回(春・夏・秋・冬)とし、WEB発行は外注せず、すべて事務局内で編集した。(令和3年:年4回冊子発行、令和4年度:年2回冊子発行 WEB発行なし)

- ・ 令和7年度も同様とし、費用(郵送料含む)も令和5年、6年度レベルとなった。(令和7年4月発行の費用であるため、郵送料値上げの影響は受けていない)

【費用 事業費 印刷製本費】 (【 】は収支表における経費項目、以下同じ)

- 令和7年度:1,468,981円
- 令和6年度:1,344,794円
- 令和5年度:1,626,853円
- 令和4年度:3,468,059円
- 令和3年度:6,450,106円

- ・ 広告収入は一旦令和5年度に減少したが(WEB版には広告を掲載しなかった)、令和6年度からはWEB版にも掲載することとし、以降広告費が増加した。

【収益 事業収益 広告事業収益】

- 令和7年度:161,920円
- 令和6年度:147,070円(注)
- 令和5年度:92,450円
- 令和4年度:142,400円
- 令和3年度:678,080円(年賀広告含む)

(注)令和6年度は、令和5年度のWEB版広告掲載中断の調整のため令和7年度より少額となっている)

### 2. 大阪大学工業会賞の授与等の学生支援

- ・ 大阪大学工学研究科博士課程前期修了予定の優秀な学生を対象とし、大阪大学工業会賞の授与を行った。
- ・ 令和7年度については16名の方に授与を行い、副賞として一人3万円を贈呈した。(制度変更後初めて16名枠全てが活用された)
- ・ 受賞者の研究内容については、各受賞者に紹介原稿を作成いただき、工業会ホームページで一般公開を行った。令和8年度テクノネットWEB版でも順次公開予定。
- ・ なお、受賞者に対し、入会の案内を行ったところ、2名の長期会員、2名の年会費会員の申し込みがあった。
- ・ また吹田祭への支援を行った

【費用 事業費 奨学事業費】(吹田祭支援 含む)

- 令和 7 年度: 524,021 円 (受賞者 16 名)
  - 令和 6 年度: 433,302 円 (受賞者 14 名)
  - 令和 5 年度: 482,612 円 (受賞者 15 名)
  - 令和 4 年度: 432,517 円 (受賞者 13 名)
  - 令和 3 年度: 473,920 円 (旧制度受賞者 4 名)
- ・ また、工学部・工学研究科との共催行事(女子高生のためのオープンキャンパス、女性研究者のとその卵たちの集い)において支援を行った

【費用 事業費 キャリアアップ支援】

- 令和 7 年度: 30,000 円
- 令和 6 年度: 27,000 円

### 3. 講演会の実施・共催

(1) 定時社員総会における講演会(現地開催+オンライン開催) (費用 0)

講師: 大阪大学 大学院 工学研究科長 大政健史 様

演題: 「バイオテクノロジーをもちいたものづくり

現状と展望: 2025年関西万博およびその先を見据えて」

(2) 冶金会講演会の共催

- ・ 冶金会が実施する総会併設等の講演会の共催を行った。
- ・ 共催金 1万円/回×2回を冶金会に支給した。
- ・ 開催内容は会誌テクノネットで紹介した。

(3) 吹田祭 講演会

- ・ 吹田祭の講演会(准教授会主催)に協賛を行った。(協賛金 1万円)

【費用 事業費 講演会費】

- 令和 7 年度: 33,411 円
- 令和 6 年度: 83,411 円
- 令和 5 年度: 33,411 円
- 令和 4 年度: 89,096 円
- 令和 3 年度: 33,411 円

### 4. 支部活動

- ・ 令和 6 年度より本部本体に組み入れて管理することとした。(昨年度に費用振替を実施)
- ・ ただし、支部活動は従来どおり支部の判断で実施
- ・ このため、費用計上は東京支部からの支部活動にともなう費用収支の報告に基づき行った。
- ・ 令和7年度については、予算40万円に対し、383,614円が活用された。

【費用 事業費 支部事業推進費】

- 令和7年度費用:383,614 円
- 令和6年度費用:337,754 円 (この年度から本部で費用収支計上)
- 令和5年度費用:0 円 (本部からの支出)
- 令和4年度費用:0 円 (本部からの支出)
- 令和3年度費用:49,267 円 (本部からの支出)

5. ホームページによる情報発信

- ・ 大阪大学卒業生向け情報、工学研究科情報を含めホームページによる情報発信頻度を向上させた。ただし、ホームページの改定は一通りの改善点がまとまった段階で発注することとし、令和6年度に引き続き、令和7年度も大幅な改定は見送った。
- ・ ホームページ管理費等で下記の費用を要した。

【費用 事業費 情報配信サービス事業費】

- 令和7年度費用: 92,180 円
- 令和6年度費用: 98,780 円
- 令和5年度費用: 92,180 円
- 令和4年度費用:111,980 円
- 令和3年度費用:105,380 円

6. 会員管理システムの管理、メール配信の開始およびメールアドレス登録の促進

- ・ 当会の会員管理はスタンドアローンのデータベースで行っており、大量のデータ入力はシステム会社から出張してもらい作業を行っている。システム利用料および作業費(交通費含む)として費用が発生する。(通常管理は事務局員が対応)
- ・ 会誌テクノネットの WEB 配信の連絡、イベントの適宜情報発信を行うため、令和5年1月より会員向けにメール配信を開始したが、既存の会員管理システムを利用したメール配信とし、費用をほとんどかけることなく配信が可能となった。
- ・ 令和7年度も特にシステム変更を行っておらず従来レベルの費用となった。
- ・ なお、個人情報保護の観点から、会員管理システムは通常はインターネットと切り離しており、メール配信時のみネット接続する方式となっている。
- ・ メール配信の送付先拡大のため、会誌などにおいてメールアドレス登録を呼びかけている。

【費用 管理費 会員管理システム費】

- 令和7年度:240,240 円
- 令和6年度:238,040 円
- 令和5年度:246,400 円
- 令和4年度:237,600 円
- 令和3年度:237,600 円

## 7. 委員会活動(事業部門)

### <編集委員会>

- ・ 会誌テクノネットの編集委員会を年4回開催し、執筆依頼の分担、各コーナーでの取り扱いなどについて検討を行った。
- ・ 令和7年度より年1回の現地開催、他はWEB開催とした
- ・ 現地開催は中之島センターを利用し会食も実施したため下記の費用を要した。

### 【費用 事業費 会議費】

- 令和7年度:52,200 円

## 8. 総会・理事会・WG等(管理部門)

以下の会合を実施した。

### <定時社員総会>

2025年6月24日(月) 17時~18時

- ・大阪大学中之島センター10階ルーム3.4 および ZOOMの併設で開催
- ・総会・講演会後に懇親会を実施した(於:中之島センター 9階 サロン・アゴラ)

### <理事会>

2025年5月23日(月) 17:30~18:30 (令和6年度事業報告・決算の審議)

- ・大阪大学中之島センター 大会議室および ZOOMによるリモート開催
- ・会議後、中之島センター2階 カフェテリア・アゴラにおいて会食

2026年3月24日(金) 17:30~18:30 (令和7年度事業計画・予算の審議)

- ・ZOOMによるリモート開催

### <企画・展望ワーキング>

令和7年度については会議を開催しなかったが、投資検討などについてメールでの審議を行った。

### <新年会>

2025年1月24日(金)18時~20時 大阪大学中之島センター9階 サロン・アゴラで開催

### <専攻同窓会との情報交換会>

- ・ 2025年11月7日、12月12日の2回に分けて、専攻同窓会との意見交換会(ZOOM併用)を実施した。(前回は2021年11月)
- ・ 豊田会長から、専攻同窓会の行事の講演会を工業会会員に配信できるような連携を行いたいとの依頼がなされた。
- ・ これまで、専攻同窓会の窓口幹事の方の把握を工業会として行っていなかったが、今後適宜確認し、窓口幹事の把握をさせていただくこととした。
- ・ 新年会に専攻同窓会幹事の方を招待したが参加者がおられなかった。
- ・ 特に費用は生じていない。

### 【費用 管理費 会議費】

- 令和 7 年度:242,919 円(総会時懇親会差額補助、理事会会食、新年会差額補助)
- 令和 6 年度:184,600 円(総会時懇親会差額補助、新年会差額補填)
- 令和 5 年度:135,910 円(総会時懇親会差額補助、新年会差額補填)
- 令和 4 年度:0 円
- 令和 3 年度:0 円

## II. 収益について

### 1. 会費収入および同窓会連合会還元金

- ・ 令和7年1月より長期会員制度を導入した。
- ・ 令和7年度は、入会数が増加した。  
(入会者数 令和6年度 47 名、 令和7年度 94 名)
- ・ 賛助会員2社(株式会社山本金属製作所様、株式会社ダイヘン様)に継続いただいた。
- ・ 連合会還元金が若干増加した。

### 【収益 受取会費】

- 令和 7 年度:3,384,000 円  
(会費 3,224,000 円、賛助会員会費 60,000、 連合会還元金 100,000 円)
- 令和 6 年度:2,535,000 円  
(会費 2,417,000、 賛助会員会費 60,000、 連合会還元金 58,000 円)
- 令和 5 年度:2,718,000 円
- 令和 4 年度:2,960,000 円
- 令和 3 年度:3,460,000 円

### 2. 産学人材育成事業業務支援手数料

- ・ 大阪大学工業会では下記3講座がそれぞれ独立事業として実施されており、この経理手続きを工業会本体で担っている。従来その手数料(内部振り替え)を会費など各事業の収入の5%としていたが、①③については令和 4 年度分から、②については令和 5 年度より 10%と変更を行った。

#### ①応用化学系社会人教育講座

産学高分子塾及び個別企業のニーズに合わせたカリキュラムによる出張高分子塾を開催。

#### ②機械工学系技術交流会

講演会及び機械工学関連分野を知るためのラウンドテーブルを開催。

#### ③パワエレ技術者塾

実務につなげるパワーエレクトロニクス技術者の育成。

- ・ それぞれの活動内容については別紙1参照

【収益 内部振替 事務手数料(その他事業)】

- 令和 7 年度:1,885,558 円
- 令和 6 年度:1,988,266 円
- 令和 5 年度:1,702,723 円
- 令和 4 年度:1,361,143 円
- 令和 3 年度: 740,657 円

3. 資産運用

- ・ 従来国債で 3000 万円の資産運用を行ってきたが、令和 5 年度に、3000 万円分、令和 6 年度に約 1500 万円の社債等を購入し運用枠を拡大した。
- ・ さらに令和7年度に 500 万円の社債を追加した

【収益 雑収益 受取利息】

- 令和 7 年度:843,578 円
- 令和 6 年度:837,498 円
- 令和 5 年度:697,414 円
- 令和 4 年度:600,071 円
- 令和 3 年度:670,060 円

【収益 雑収益 有価証券運用益】

- 令和 7 年度:705,544 円
- 令和 6 年度:380,325 円

4. 寄付金制度

- ・ 令和 6 年 10 月より寄付金制度を導入した。
- ・ 令和 6 年度は、13 名の方に、合計 80 万円のご寄付をいただいた。
- ・ 令和 7 年度は、8 名の方に、合計51万円のご寄付をいただいた。

【収益 受取寄付金】

- 令和 7 年度:510,000 円
- 令和 6 年度:800,000 円

工業会本体収支推移

円

	令和 3 年度 実績	令和 4 年度 実績	令和 5 年度 実績	令和 6 年度 (寄付・支部振替含む)	令和 7 年度決算 (寄付含む)
収益	5,903,277	5,093,614	5,210,587	5,888,159 (8,087,811)	6,980,600 (7,490,600)
費用	16,149,857	12,142,247	10,175,076	9,946,104	9,866,073
収支 (収益-費用)	-10,246,630	-7,048,633	-4,964,489	-4,057,945 (-1,858,293)	-2,885,473 (-2,375,473)

以上

工業会本体		
収 益		
受取会費	会員会費	3,224,000
	賛助会員会費	60,000
	連合会還元金	100,000
	<b>中計</b>	<b>3,384,000</b>
事業収益	広告事業収益	161,920
受取寄付金		510,000
雑収益	受取利息	843,578
	有価証券運用益	705,544
内部振替	事務手数料（その他事業）	1,885,558
	<b>中計</b>	<b>3,434,680</b>
<b>収益合計</b>		<b>7,490,600</b>
費 用		
事業費	印刷製本費	1,468,981
	会議費	52,200
	講演会費	33,411
	奨学事業費	524,021
	支部事業推進費	383,614
	情報配信サービス事業費	92,180
	キャリアアップ支援費	30,000
	<b>中計</b>	<b>2,584,407</b>
管理費	給料手当	3,942,500
	法定福利費	35,704
	会議費	242,919
	旅費交通費	713,690
	通信運搬費	82,306
	消耗品費	62,097
	光熱水料費	84,330
	賃借料	137,800
	租税公課	247,525
	消費税（租税公課）	2,672
	支払負担金	60,000
	会費等集金費	260,507
	会員管理システム費	240,240
	リース料	287,760
	手数料	46,222
	支払報酬	572,000
	雑費	263,394
	<b>中計</b>	<b>7,281,666</b>
<b>費用合計</b>		<b>9,866,073</b>
<b>収支</b>	<b>（収益－費用）</b>	<b>-2,375,473</b>

社会人教育事業(応化 機械 パワエレ塾)		
収 益		
受取会費	社会人教育講座（応化）	0
	機械系技術交流会	6,200,000
	パワエレ技術者塾	1,820,000
	<b>中計</b>	<b>8,020,000</b>
受講料	社会人教育講座（応化）	550,000
	機械系技術交流会	3,100,000
	パワエレ技術者塾	7,151,500
	<b>中計</b>	<b>10,801,500</b>
雑収益	受取利息	34,091
<b>収益合計</b>		<b>18,855,591</b>
費 用		
事業費	給料手当	1,019,850
	雑給	92,250
	旅費交通費	423,978
	通信運搬費	76,050
	減価償却費（P C）	223,182
	消耗品費	542,909
	印刷製本費	410,850
	賃借料	458,150
	租税公課	5,217
	消費税（租税公課）	199,328
	委託費	5,181,836
	講演会費	3,007,564
	奨学事業費	6,600,000
	手数料	49,082
	会議費	412,210
	雑費	1,081,300
内部振替	雑費（事務手数料）	1,885,558
<b>費用合計</b>		<b>21,669,314</b>
<b>収支</b>	<b>（収益－費用）</b>	<b>-2,813,723</b>

工業会全体（工業会本体＋社会人教育事業）	
経常収益計：	26,346,191
経常費用計：	31,535,387
<b>全体収支</b>	<b>-5,189,196</b>

2026年6月22日 大阪大学工業会定時社員総会  
第1号議案資料-3

# 財 務 諸 表

自：令和 7年 4月 1日  
至：令和 8年 3月31日

〒565-0871  
吹田市山田丘2-1  
大阪大学大学院工学研究科内センテラス3階

一般社団法人 大阪大学工業会

会長 豊田 政男

## 貸借対照表

令和 8年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	55,670,317	63,765,764	△ 8,095,447
立替金	17,133	0	17,133
流動資産合計	55,687,450	63,765,764	△ 8,078,314
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
什器備品	64,342	287,524	△ 223,182
投資有価証券	79,800,000	74,800,000	5,000,000
その他固定資産合計	79,864,342	75,087,524	4,776,818
固定資産合計	79,864,342	75,087,524	4,776,818
資産合計	135,551,792	138,853,288	△ 3,301,496
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	10,693,700	8,806,000	1,887,700
流動負債合計	10,693,700	8,806,000	1,887,700
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	10,693,700	8,806,000	1,887,700
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	124,858,092	130,047,288	△ 5,189,196
正味財産合計	124,858,092	130,047,288	△ 5,189,196
負債及び正味財産合計	135,551,792	138,853,288	△ 3,301,496

## 正味財産増減計算書

令和 7年 4月 1日 から令和 8年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	3,224,000	2,417,000	807,000
賛助会員受取会費	60,000	60,000	0
連合会還元会費	100,000	58,000	42,000
機械系技術交流会会費	6,200,000	6,300,000	△ 100,000
パワエレ技術者塾会費	1,820,000	2,600,000	△ 780,000
受取会費計	11,404,000	11,435,000	△ 31,000
事業収益			
広告事業収益	161,920	147,070	14,850
社会人教育講座収益	550,000	1,246,680	△ 696,680
機械系技術交流会収益	3,100,000	2,080,000	1,020,000
パワエレ技術者塾講座収益	7,151,500	7,645,900	△ 494,400
事業収益計	10,963,420	11,119,650	△ 156,230
受取寄付金			
受取寄付金	510,000	750,000	△ 240,000
受取寄付金振替額	0	50,000	△ 50,000
受取寄付金計	510,000	800,000	△ 290,000
雑収益			
受取利息	877,669	847,598	30,071
有価証券運用益	705,544	380,325	325,219
雑収益	1,885,558	3,426,098	△ 1,540,540
雑収益計	3,468,771	4,654,021	△ 1,185,250
経常収益計	26,346,191	28,008,671	△ 1,662,480
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	1,019,850	981,500	38,350
雑給	92,250	105,000	△ 12,750
旅費交通費	423,978	696,219	△ 272,241
通信運搬費	76,050	65,513	10,537
減価償却費	223,182	427,021	△ 203,839
消耗品費	542,909	290,281	252,628
印刷製本費	1,879,831	2,581,414	△ 701,583
賃借料	458,150	439,285	18,865
租税公課	207,217	92,344	114,873
委託費	5,181,836	3,185,842	1,995,994
講演会費	3,040,975	3,303,841	△ 262,866
奨学事業費	7,124,021	5,933,302	1,190,719
支部事業推進費	383,614	337,754	45,860
情報配信サービス事業費	92,180	98,780	△ 6,600
キャリアアップ支援費	30,000	27,000	3,000
手数料	59,972	57,046	2,926
会議費	464,410	332,251	132,159
雑費	2,966,858	2,273,191	693,667
事業費計	24,267,283	21,227,584	3,039,699
管理費			
給料手当	3,942,500	4,154,050	△ 211,550
法定福利費	35,704	57,609	△ 21,905
会議費	242,919	184,600	58,319
旅費交通費	713,690	775,730	△ 62,040
通信運搬費	82,306	64,964	17,342
消耗品費	62,097	24,860	37,237
光熱水料費	84,330	88,844	△ 4,514
賃借料	137,800	137,329	471
租税公課	247,525	197,105	50,420
支払負担金	60,000	60,000	0
会費等集金費	260,507	341,378	△ 80,871
会員管理システム費	240,240	238,040	2,200
リース料	287,760	287,760	0
手数料	35,332	38,148	△ 2,816
支払報酬	572,000	544,500	27,500
雑費	263,394	273,974	△ 10,580
管理費計	7,268,104	7,468,891	△ 200,787
経常費用計	31,535,387	28,696,475	2,838,912
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,189,196	△ 687,804	△ 4,501,392
当期経常増減額	△ 5,189,196	△ 687,804	△ 4,501,392

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 5,189,196	△ 687,804	△ 4,501,392
当期一般正味財産増減額	△ 5,189,196	△ 687,804	△ 4,501,392
一般正味財産期首残高	130,047,288	130,735,092	△ 687,804
一般正味財産期末残高	124,858,092	130,047,288	△ 5,189,196
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	124,858,092	130,047,288	△ 5,189,196

# 監査報告書

私は、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの  
令和7年度における会計監査を行い、次のとおり報告する。

## 1. 監査方法の概要

会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。

## 2. 監査結果

上記監査の結果、会計処理については、いずれも適正かつ正確であった。

令和8年4月24日

ダブルライズ税理士法人


社員税理士 和田 浩孝





令和8年5月8日

## 監査報告

一般社団法人 大阪大学工業会

監事 大崎 幸彦 

監事 山下 直之 

監事 隅田 武男 

一般社団法人大阪大学工業会における令和7年4月1日から  
令和8年3月31日までの事業内容(収入と支出含む)の状況、  
財務諸表、資産書類(金融機関残高証明等)を確認し、事業内  
容および会計処理が適正かつ正確に行われていることを確認  
しましたので、報告いたします。

以上

## 大阪大学工業会 産学人材育成事業

### 令和7年度実施報告

◆R7年度 産学高分子塾					
実施日	講座名	講義題目	講義時間	講師	受講者数
R7.9.19	産学高分子塾 入門講座	・高分子構造の理解のための化学統計力学 ・高分子構造論1	210分×5	関 修平	11社
R7.9.26		・高分子構造論2 ・高分子構造と熱・電子物性		関 修平	
R7.10.3		重合反応の基礎		宇山 浩	
R7.10.10		高分子材料の物性と分析		藤内 謙光	
R7.10.17		高分子レオロジー		井上 正志	
※すべてオンラインにて開催					

# 大阪大学工業会機械工学系技術交流会

## 第 27 期 活動報告

(令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月)

### ◆ 第 124 回

日時：2025 年 6 月 13 日（金）13:30～17:30（総会・講演会）

場所：M4 棟 2 階 201 講義室

参加者：55 名・企業参加数 21 社

〈講演会〉

- 「日本郵船グループにおける Decarbonization と Digitalization の取り組み」  
日本郵船株式会社 工務グループ  
グリーン技術チーム / アンモニア技術チーム  
チーム長 加藤 淳 氏
- 「船用アンモニア燃料エンジンの開発」  
株式会社 IHI 原動機 船用事業部 副事業部長  
兼 事業推進部 次長アンモニア事業推進担当  
兼 技術センター アンモニアプロジェクト部  
主幹 元田 徹 氏
- 「船用次世代燃料焚き機器開発の取り組み」  
ボルカノ株式会社 開発本部 研究開発部 グリーン戦略室  
理事・室長 長谷川 宏樹 氏

### ◆ 第 125 回

日時：2025 年 8 月 1 日（金）13:30～17:05

場所：M4 棟 2 階 201 講義室

参加者：25 名・企業参加数 8 社

〈講演会〉

- 「高生産性航空機複合材成形のための埋め込みセンサによるその場挙動評価」  
東京大学 大学院工学系研究科 航空宇宙工学専攻  
准教授 水口 周 氏
- 「固相粒子の高速衝突現象を活用した溶かさない溶射技術とそのメカニズム」  
東北大学 大学院工学研究科  
先端材料強度科学研究センター  
准教授 市川 裕士 氏

- 「 $\alpha$ -Ti合金の固溶強化量の定量解析手法の確立と機械学習を用いた $\alpha + \beta$ -Ti合金の強度予測」

大阪大学 接合科学研究所

講師 刈屋 翔太 氏

#### ◆機械工学関連分野を知るためのラウンドテーブル

大学院博士前期課程（修士課程）のゼミナールとして実施

日時：2025年9月25日（木）～9月26日（金）13:00～17:00

参加：52社

場所：大阪大学コンベンションセンター

主旨：大学院博士前期課程（修士課程）のゼミナールとして、機械工学系技術交流会の企業会員から技術紹介を実施していただき、大学院生・学生に産業界の現状理解と将来のキャリアパスを考える機会を設けた。

#### ◆ 第126回

日時：2025年10月17日（金）13:30～17:00

場所：M4棟2階201講義室

参加者：32名・企業参加数9社

〈講演会〉

- 「国際水素サプライチェーン構築への取組み」

川崎重工業株式会社 水素戦略本部

開発運営部 将来開発課

基幹職 種田憲人 氏

- 「カーボンニュートラルを実現する水素エンジンの研究」

カワサキモータース株式会社

航空システム総括部

副総括部長 市 聡頭 氏

- 「水素社会実現に向けた岩谷産業の取組み」

岩谷産業株式会社 岩谷水素技術研究所

研究企画担当 矢野 善規 氏

#### ◆ 第127回

日時：2026年1月9日（金）13:30～16:20

場所：M4棟2階201講義室

参加者：27名・参加企業数16社

〈講演会〉

- 「産業向けAIで加速する現場イノベーション：開発アプローチと最新事例」

株式会社日立製作所

研究開発グループ モビリティ&オートメーション

イノベーションセンタ

中野 隆宏 氏

- 「モビリティの領域におけるヒューマンエラー対策のためのデジタル技術」

筑波大学 大学院 システム情報工学研究群

助教 齊藤 裕一 氏

◆ 第 128 回

日時：2026年3月27日（金）13:30～17:30

場所：M4棟2階201講義室

参加者：35名・参加企業数10社

〈講演会〉

- 「シリコンバレーで見てきたGX・DX・AX」

東北電力 事業創出部門 アドバイザー

大阪大学フォーサイト 取締役兼 VP of BizDev

エクスライザーズ 顧問 出馬 弘昭 氏

- 「流体の時間発展サロゲートモデルとその活用方法の展望」

大阪大学 大学院 工学研究科 機械工学専攻

助教 岡林 希依 氏

- 「バイオチャーによる循環型炭素経済と脱炭素戦略」

株式会社 PEO 技術士事務所

代表取締役 笹内 謙一 氏

大阪大学工業会 機械工学系 技術交流会・奨学金受給者（2025年度）

成果発表（2件）

発表 1

- 弱圧縮性DEM-CFD法による流動層型メタネーション反応器のモデル開発

山口・辻・鷺野研究室 家方 優希 氏

発表 2

- In-process Inspection for Laser-based Powder Bed Fusion of Metals Using Laser-generated Ultrasonics

林研究室 Yongjoon Choi 氏

以上

2025年(令和7年)度 パワエレ技術者塾 実施報告書

2026/3/16

◆令和7年度上期(4月～9月) パワエレ技術者塾

ワエレ技術者塾事務局 東野 秀隆

実施日	口座回	受講コース	講義題目	講義時間	講師	受講者数
2025/5/10	1回目	A, C	LT-SPICE講座	240分	高橋 成正	32
2025/5/24	2回目	A, C	KiCAD講座(含:スイッチング電源のノイズ対策)	240分	高橋 成正	31
2025/6/7	3回目	A,B,C	[補講Ⅰ] 電気回路とラプラス変換(過渡解析)[初級]	240分	谷口 研二	40
2025/6/21	4回目	A,B,C	スイッチング回路の要、半導体パワー素子	240分	谷口 研二	41
2025/7/5	5回目	A,B,C	マイクロな目でみる誘電体と磁性体	240分	谷口 研二	40
2025/7/19	6A回目	A, C	DC/DCコンバータ: デザインレビュー(前半)	240分	高橋 成正	33
2025/7/26	6B回目	A, C	DC/DCコンバータ: デザインレビュー(後半)	240分	高橋 成正	25
2025/8/16	7回目	A,B,C	学び直しの制御理論(古典制御、PID制御)	240分	谷口 研二	37
2025/8/30	8回目	A,B,C	電磁干渉(EMI)の正しい理解(電磁気学)	240分	谷口 研二	41
2025/9/13	9回目	A,B,C	[補講Ⅱ] アナログ回路基礎とオペアンプの活用[中級]	240分	谷口 研二	36
2025/9/27	10回目	A, C	各種コンバータとその制御(Buck,Boost,etc.)	240分	谷口 研二	32

◆令和7年度下期(10月～3月) パワエレ技術者塾

実施日	口座名	受講コース	講義題目	講義時間	講師	受講者数
2025/10/11	11回目	A, C	現実のコンバータの課題と対策(電力損失,スナバ,入力フィルタ等)	240分	谷口 研二	29
2025/10/25	12回目	A, C	コンバータの実際例(Buck, Flyback, 評価回路分析)	240分	谷口 研二	32
2025/11/8	13回目	A, C	力率補正回路と環境にやさしいコンバータ(LLC)	240分	谷口 研二	31
2025/11/22	14回目	A, C	[補講Ⅲ] デジタル制御[上級](含む現代制御、GaNのゲート駆動回路)	240分	谷口 研二	28
2025/12/6	15回目	B,C	インバータの種類とその動作原理	240分	谷口 研二	28
2026/1/17	16回目	B,C	各種モータとその駆動方法	240分	谷口 研二	32
2026/1/31	17回目	B,C	モータ駆動	240分	谷口 研二	31
2026/2/7	先端技術 セミナー	A,B,C	先端技術セミナー「最新のパワーエレクトロニクス計測技術」	240分	長浜 竜	35

◆令和7年度下期(10月～3月) パワエレ技術者塾「コンバータ基板製作・評価課程」

実施期間	受講コース	実施課程	受講者数
2025/5/25～2026/3/31	A, C	「コンバータ基板製作・評価課程」(6A,6B回目講座での指摘事項を受講生が修正し、その設計を基にコンバータ基板の製作・評価を外部業者に委託して設計の完成度を体得する実習コース。)	25

正味財産増減計算書内訳表  
令和 7年 4月 1日 から令和 8年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	実施事業等会計					法人会計	合計	その他会計					合計
	継1：振興・啓発	継2：援助・奨学	継3：科学・技術誌の刊行	継4：キャリアアップ	小計			他1：教育講座	他2：ワークショップ	他3：機械技術	他4：パワエレ	小計	
I 一般正味財産増減の部													
1. 経常増減の部													
(1) 経常収益													
受取会費					0	3,384,000	3,384,000					0	3,384,000
正会員受取会費					0	3,224,000	3,224,000					0	3,224,000
賛助会員受取会費					0	60,000	60,000					0	60,000
連合会還元会費					0	100,000	100,000					0	100,000
受取会費計	0	0	0	0	0	3,384,000	3,384,000	0	0	0	0	0	3,384,000
受取寄付金					0		0					0	0
受取寄付金					0	510,000	510,000					0	510,000
受取寄付金計	0	0	0	0	0	510,000	510,000	0	0	0	0	0	510,000
事業収益													
広告事業収益			161,920		161,920		161,920					0	161,920
公開講座事業収益					0		0					0	0
社会人教育講座収益					0		0	550,000				550,000	550,000
機械系技術交流会収益					0		0		9,300,000			9,300,000	9,300,000
パワエレ技術者塾収益					0		0				8,971,500	8,971,500	8,971,500
事業収益計	0	0	161,920	0	161,920	0	161,920	550,000	0	9,300,000	8,971,500	18,821,500	18,983,420
雑収益													
受取利息					0	843,578	843,578	9,680		12,329	12,082	34,091	877,669
有価証券運用益					0	705,544	705,544					0	705,544
雑収益					0	1,885,558	1,885,558					0	1,885,558
雑収益計	0	0	0	0	0	3,434,680	3,434,680	9,680	0	12,329	12,082	34,091	3,468,771
経常収益計	0	0	161,920	0	161,920	7,328,680	7,490,600	559,680	0	9,312,329	8,983,582	18,855,591	26,346,191
(2) 経常費用													
事業費													
給料手当					0		0	161,200		858,650		1,019,850	1,019,850
法定福利費					0		0					0	0
雑給					0		0			92,250		92,250	92,250
旅費交通費					0		0			398,228	25,750	423,978	423,978
通信運搬費					0		0			14,670	61,380	76,050	76,050
什器備品減価償却費					0		0				223,182	223,182	223,182
消耗品費					0		0			401,520	141,389	542,909	542,909
印刷製本費			1,468,981		1,468,981		1,468,981				410,850	410,850	1,879,831
賃借料					0		0			458,150		458,150	458,150
租税公課			2,672		2,672		2,672	24,128		39,672	140,745	204,545	207,217
委託費					0		0				5,181,836	5,181,836	5,181,836
夏期数学講座事業費					0		0					0	0
講演会費	33,411				33,411		33,411	267,288		144,276	2,596,000	3,007,564	3,040,975
奨学事業費		524,021			524,021		524,021	1,700,000		4,900,000		6,600,000	7,124,021
支部事業推進費	383,614				383,614		383,614					0	383,614
情報配信サービス事業費	92,180				92,180		92,180					0	92,180
キャリアアップ支援費				30,000	30,000		30,000					0	30,000
手数料		5,566	5,324		10,890		10,890	4,840		19,470	24,772	49,082	59,972



財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
満期保有目的の債権は償却原価法を採用している。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
該当なし。
- (3) 固定資産の減価償却の方法  
什器備品一定率法  
ソフトウェア一定額法
- (4) 引当金の計上基準  
退職給付引当金は、職員の退職給付をすべき対象者が存在しないので引き当てていない。
- (5) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲  
該当なし。
- (6) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

該当なし。

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

該当なし。

6. 担保に供している資産

該当なし。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	1,443,642	1,379,300	64,342
ソフトウェア	1,674,000	1,674,000	0
合 計	3,117,642	3,053,300	64,342

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当なし。

9. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務

該当なし。

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
第126回利付国債（20年）	30,000,000	30,294,270	294,270
第35回三菱UFJFG劣後債	10,000,000	9,738,620	-261,380
第19回三井住友トラストHD劣後債	10,000,000	9,779,720	-220,280
第63回ソフトバンクグループ株式会社 無担保社債	10,000,000	9,630,280	-369,720
第67回ソフトバンクグループ株式会社 無担保社債	5,000,000	4,924,590	-75,410
ソフトバンク(第1回社債型種類株式)	10,000,000	9,467,500	-532,500
ソフトバンク(第2回社債型種類株式)	4,800,000	4,560,000	-240,000
	79,800,000	78,394,980	-1,405,020

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当なし。

12. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当なし。

13. 関連当事者との取引の内容

該当なし。

14. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

該当なし。

15. 重要な後発事象

該当なし。

16. その他

該当なし。